

サインゲームを知ってますか？

よくある命令がゲームの一つです。兄弟やおうちの人にためしてください。

ボディーサインゲーム

① 「野球の監督のようなサインを出すので、このサインが何か、当ててください。」と言います。

② まず、これは「打て！」のサインです。絵のように、右手で左手の手首、左ひじ、胸をポン、ポン、ポンとたたきます。



③ これは「走れ！」のサインです。②と同じように、ポン、ポン、ポンとたたきます。

④ これは「見のがせ！」のサインです。やはり②と③と同じように、たたきます。

(ここまでは、三つとも同じサインに見えています。)

⑤ そこで、「じゃあ、これは何のサインですか？」とたずねます。



正解は、「打て」のサインです。

△サインのなぞ▽

「これは」と言った時、手首、ひじ、胸のどこをたたいているかによります。

ポン、ポン、ポンとたたきながら、同じように見えていても、「これは」と言う時にた

たく位置を変えて、「打て」「走れ」「みのがせ」とサインを出すわけです。



これは何の数字？

「黒板にある数字を表すサインを出すので、当ててください。」と言う。(家であれば、マグネットがはれる物があればよい。)

① 黒板にマグネットの玉を一つ置き、「これは1を表します。かんたんですね。」と言う。



② マグネットを二つ置いて、「これは当然2を表します。」



③ 「それでは、これは何を表していますか？」



「3?! いえいえ、ちがいます。正解は1です。」

④ 「じゃあ、これは？」と、手を広げて、「4?ちがいますよ。実は5なんです。」



△サインのなぞ▽
マグネットの数に関係なく、指の数だったのです。

ポイント、さりげなく指をさしたり、黒板をたたいたりして、「そう、これも5ですね」



とか、「じゃあ、こうすれば1ですね」



とか、「こうおけば? 4ですよね。」



※ さりげなく親指を折っています

とか言って、ヒントを出してあげます。

机の上に鉛筆や消しゴムをならべてやってもなかなか気づかないので、家の人を驚かすこともできます。ぜひ、一度ためてみてください。